

令和5年度 事業計画（案）

事業計画立案に当たって

令和3年度からの会報発送基準の変更、合わせてこの3年間にわたる新型コロナ感染拡大に伴う活動自粛の影響による支出予算の減少により財政収支は一時的ではありますが改善されました。しかし、いずみ会活動においては、中若年層評議員の評議員会における議決権行使状況から見て、この世代のいずみ会に対する関心の低さが伺われます。一方、「20歳の集い」の開催を支援する活動を通じて、中高一貫校になってからの新しい会員とのつながりは強くなっています。2年後の令和7年度（2025年）には「いずみ会創立80周年」を迎えます。本年度は、新型コロナ感染拡大に伴い希薄となったつながり取り戻すべく、会員相互の情報を密にする双方向の広報活動の充実と同期会を中心とした横のつながりを強化する活動を中心に展開していきたい。

第1. 定時評議員会

令和5年5月27日（土）の定時評議員会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月の開催、監査会は年2回開催とする。
2. 評議員会出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員の更なる見直しを図る。
3. 評議員が選出されていない期に対して積極的にアプローチする。
4. 評議員会開催案内をはがきからメールによる案内へ極力切り替える。
5. 定例の理事会、部長会をZOOM等によるウェブ会議形式も併用して会議の効率化を図る。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
2. 初めての同期会として「20歳の集い」を開催支援する。
3. 2回目の成人式となる仮称「40歳の集い」の企画を促し、今回対象の53期の開催希望があればこれを支援する。
4. コロナ禍で中断していたその他期の同期会開催を支援する。

第4. 会報発行、広報活動の充実

1. 会報67号を令和5年10月1日目標に発行する。
2. 会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、積極的収集による内容の充実を図る。

第5. 総会及びホームカミングデー

1. 総会は、令和5年10月28日（土）に在校生との交流を図る場として開催を予定する。
2. そのため総会開催前にホームカミングデー開催を予定する。

第6. 財政管理

1. 会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
2. 同期会、総会、評議員会などの場を通じて、会費納入・寄付を呼び掛ける。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向けて、各期会員情報部幹事の活発な活動を促進する。
2. 高校76期の名簿を作成し、卒業時に配布する。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育支援・部活動を支援する。
2. 文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第9. 人材バンク活動

1. 登録制度を活用して、多彩な人材を発掘し、卒業生の人材情報の充実を図る。
2. 会員相互の交流を図るような会員向け講話等のイベントを企画する。

第10. 役員改選の準備

令和6年度の改選に向けての準備を行う。

第11. いずみ会創立80周年行事（令和7年10月開催予定）における企画内容を検討する。

ホームページのリニューアル（スマホ画面への対応）を検討する。

以上